

平成30年度 第4回木津川市行財政改革推進委員会 会議次第

日時：平成31年1月23日（水）午後2時～

場所：木津川市役所5階 全員協議会室

1. 開 会

2. 議 事

外部評価対象項目の選定について（審議）

3. その他

4. 閉 会

<配付資料>

議事（1）関係

資料1-1 「行財政改革行動計画の進捗状況」に対する外部評価対象項目の選定（案）について

資料1-2 外部評価対象項目選定シートのまとめ

参考資料

参考資料1 外部評価シート（案・例）

参考資料2 外部評価調査票（例）

参考資料3 平成31年度行財政改革推進委員会スケジュール（案）

「行財政改革行動計画の進捗状況」に対する 外部評価対象項目の選定（案）について

木津川市行財政改革推進委員会事務局

○本日までの経過

- ・平成30年度第3回委員会にて、各委員に対し、評価対象となる候補項目の事前提出について依頼を行うことを決定。
⇒事務局から各委員に対し、メールにて「『第3次行財政改革行動計画』外部評価対象項目選定シート」を送信。
- ・「外部評価対象項目選定シート」により事前提出された候補項目を、資料1-2「外部評価対象項目選定シートのまとめ」のとおり整理。

○外部評価対象項目選定の流れ（案）

- ①資料1-2「外部評価対象項目選定シートのまとめ」の内容確認。
（事務局説明）
- ②委員会の協議により、次年度（平成31年度）の外部評価対象項目を選定。
（目安：4項目程度）

※最終的な評価項目については、次回委員会（平成31年度第1回委員会）にて、平成30年度新規追加項目や市が決定（評価）した内容等を踏まえた協議の上、決定する。

外部評価対象項目選定シートのまとめ

(分類後番号①：実施及び平成30年度末で検討終了。②：平成31年度以降まで検討。③：集約、内部事務事業、情報発信事業など)

重点改革項目	小項目	No.	行動計画項目	特記事項（要約）	分類後番号
協働の市政の推進	①市民との協働によるまちづくり	1	市民協働の推進		①
		4	都市公園等の市民自主管理		①
	②開かれた市民参加・参画の推進	5	審議会等の公募委員導入・透明性の向上	・ジェンダーの視点の導入について加える。	③
		8	市民説明会・ワークショップ等の実施	・インターネットによる広報に頼らず、直接市民の声を聞く場が必要。	③
		9	行財政改革取組情報の発信		③
行財政運営体制の改革	①人材育成の推進と職員・組織の意識改革	10	計画に基づく職員研修の実施		③
		③定員管理の適正化	14	定員適正化計画の策定	
	④総人件費の抑制	15	会計年度任用職員の導入		③
		18	時間外勤務手当の抑制		①
	⑦地方債・借入金・公金の適正管理	25	地方債の適正管理		①
事務事業の見直し	①事務事業の見直し	27	職員駐車場使用料の見直し	・適正な受益者負担の検討。 ・できるかぎり公共交通を利用すべきだが、不便な地域からの通勤者には、通勤距離等を勘案した通勤手当の支給は必要。また、使用料は、市民が納得できる料金設定が必要。	③

重点改革項目	小項目	No.	行動計画項目	特記事項（要約）	分類後番号
事務事業の見直し	①事務事業の見直し	28	コミュニティバスの利用促進	・地域公共交通総合連携協議会によるワークショップの開催、観光や老人福祉などの関係各課との連携、路線の見直しや高齢者の料金優遇措置の検討などの大胆な改革が必要。	①
		29	観光振興事業の見直し	・観光協会の場所の見直し、木津駅や高の原駅への観光案内所の設置。	①
		35	庁舎管理事業費の見直し	・他市の事例など。	③
		36	防犯灯のLED化	・LEDは寿命が長く、消費電力や設置後のメンテナンス費用も削減できることから、庁舎内の照明も早期のLED化が必要。	③
		37	消防団本部役員研修の見直し	・消防団の規律を厳格にし、団員の手当支給の透明化が必要。	③
		39	各種事務事業に対する民間活力の導入		③
		43	「環境の森センター・きづがわ」稼働等に伴う廃棄物収集運搬処理経費の見直し	・本市の最大の課題事業で事業費も多額。	③
		44	生活保護の適正化	・生活状態の実情把握、客観的な評価・判断による支給、就労支援等が必要。	①
		46	道路照明のLED化	・LEDは寿命が長く、消費電力や設置後のメンテナンス費用も削減できることから、庁舎内の照明も早期のLED化が必要。	③

重点改革項目	小項目	No.	行動計画項目	特記事項（要約）	分類後番号
事務事業の見直し	①事務事業の見直し	52	図書館運営の見直し	・図書館は年齢を問わず教育の原点。移動図書館は高齢者や子どもをもつ主婦にとっては貴重な存在で、存続を検討。	①
	②補助金等・団体支援の見直し	57	商工会補助金の見直し	・補助金の見直しは必要。	②
		58	実行組合活動補助金の見直し	・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	①
		59	行政地域制度関連補助金の見直し	・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	①
		60	自主防災組織等活動助成金の見直し	・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。 ・助成金削減による市民活動への影響を確認。	①
		61	福祉医療費（障害者）助成事業の見直し	・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	①
		62	重度心身障害老人健康管理事業の見直し	・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	①
	③外郭団体の見直し	63	外郭団体の見直し （社会福祉協議会）	・補助金の見直しは必要。 ・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	②
		64	外郭団体の見直し （シルバー人材センター）	・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	①
		65	外郭団体の見直し （公園都市緑化協会）	・補助金の見直しは必要。 ・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	②

重点改革項目	小項目	No.	行動計画項目	特記事項（要約）	分類後番号
事務事業の見直し	③外郭団体の見直し	66	外郭団体の見直し （緑と文化・スポーツ振興事業団）	・補助金の見直しは必要。 ・活動内容をオープンにし、検討吟味した上で補助金の見直し。	②
公共施設の総合管理	①公共施設のマネジメント	67	公共施設のマネジメント		①
		71	指定管理者評価制度の推進		③
	②公共施設の民営化、民間委託	73	放課後児童クラブの運営方法の検討	・若い家庭の人口流入に応えるため、児童クラブの充実は大切。	②
		74	公立幼稚園の民営化及びこども園化等の検討	・若い家庭の人口流入に応えるため、十分な検討が必要。	②
行財政システムの確立	①歳入の確保と歳出の抑制	75	ふるさと納税の増強	・より積極的な取組みと工夫が必要。	①
		79	使用料等の適正化	・適正な受益者負担の検討。	②
		81	ごみ有料化による更なるごみ減量・リサイクル施策の推進	・ごみ袋の有料化は市民が十分に納得しているか疑問もあり、対策の注視が必要。	③
		83	保育所等利用者負担額の見直し	・適正な受益者負担の検討。	②
		84	総合がん検診の見直し	・適正な受益者負担の検討。	②
		86	幼稚園バス使用料の見直し	・適正な受益者負担の検討。	②
	87	公民館講座（受益者負担）の見直し		①	
	②入札・契約制度の適正運用	88	入札・契約制度の適正運用		③
⑤地方公営企業会計、特別会計等 の見直し	95	特別会計の見直し（国民健康保険事業）	・市民の健康等に関する事柄のため、十分な検討が必要。	②	

重点改革項目	小項目	No.	行動計画項目	特記事項（要約）	分類後番号
行財政システムの確立	⑤地方公営企業会計、特別会計等の見直し	96	特別会計の見直し （国民健康保険財源の確保）	・市民の健康等に関する事柄のため、十分な検討が必要。	②
		97	特別会計の見直し （後期高齢者医療事業）	・市民の健康等に関する事柄のため、十分な検討が必要。	②
		99	特別会計の見直し （介護保険事業）	・市民の健康等に関する事柄のため、十分な検討が必要。	②
		101	地方公営企業の改革 （下水道事業）	・上下水道は市民の生活の基本となるインフラのため、慎重な検討が必要。	②
		102	地方公営企業の改革 （水道会計）	・上下水道は市民の生活の基本となるインフラのため、慎重な検討が必要。	②

(案・例)

●年度「第3次行財政改革行動計画」外部評価シート

(●年●月●日 ヒアリング実施)

項目 No	1 市民協働の推進		
項目名	市民、コミュニティ組織、NPO、企業等との連携・協働手法を調査・研究します。また、市民提案型事業支援制度である「ふるさと応援事業補助金」は、平成31(2019)年度に終了することから、市民参加に関する支援手法等を検討します。		
項目内容			
●年度市評価/区分	A / ■実施	所管部局	マチオモイ部 学研企画課

【4つの視点に対する評価】(○：適当、△：改善の余地あり、×：要改善)

○有効性 (項目内容を達成できたか。その内容は有効であるか。)	
(評価)	(意見等)
○効率性 (費用対効果は。)	
(評価)	(意見等)
○市民満足度 (「結果(内容)」は市民にとって望ましいものか。)	
(評価)	(意見等)
○適切なプロセス (手順等は適切であったか。)	
(評価)	(意見等)

(案・例)

【達成状況（結果）等に対する評価】（○：適当、△：やや不十分、×：不十分）

主な指標等	
（評価）	ふるさと応援事業活動団体数
（評価）	（意見等）
効果額	
（評価）	（H29 年度一当該年度）ふるさと応援事業補助金額
（評価）	（意見等）
取組実績等	
（評価）	（意見等）
その他	
（評価）	（意見等）

.....

【評価まとめ（市が決定した評価は）】（○：妥当な評価、－：過小な評価、＋：過大な評価）

＜市評価内容：S（特に良好に進捗）、A（良好に進捗）、B（概ね進捗）、C（進捗に課題あり）＞

外部評価結果	
（評価）	（意見等）

【中間報告等の必要性（いずれかに○）】 あり ・ なし

(例)

●年度「第3次行財政改革行動計画」外部評価調査票

項目 No	1 市民協働の推進		
項目名	市民、コミュニティ組織、NPO、企業等との連携・協働手法を調査・研究します。また、市民提案型事業支援制度である「ふるさと応援事業補助金」は、平成31(2019)年度に終了することから、市民参加に関する支援手法等を検討します。		
項目内容			
項目設定年度/区分	H30 設定 / ■実施	所管部局	マチオモイ部 学研企画課

【評価・財政効果等の動き】

	H30	H31	2020	2021	2022
検討年度					
評価	S: 特に良好に進捗 A: 良好に進捗 B: 概ね進捗 C: 進捗に課題あり				
主な指標等	ふるさと応援事業活動団体数(者・団体)				
効果額(千円)	(H29年度一当該年度)ふるさと応援事業補助金額				
目標					

【取組み実績・特記事項】

H30	
H31	
2020	
2021	
2022	

(例)

【調査事項①】

○本年度（前年度実績）の評価（S・A・B・C）を判断した主な理由

○昨年度までの取組実績を踏まえた、本年度以降の取組み方針

※評価 C の場合のみ記載

○今後（見直し後）の具体的な事業スケジュール

【調査事項②】

○有効性（項目内容を達成できたか。その内容は有効であるか。）

○効率性（費用対効果は。）

※項目達成による財政効果や事務負担の軽減と、見直し後の将来的な見通しなどを踏まえて記載。

○市民満足度（「結果（内容）」は市民にとって望ましいものか。）

○適切なプロセス（手順等は適切であったか。）

※検討開始～項目達成までの主な手続きを時系列（箇条書き）に記載。

平成 3 1 年度行財政改革推進委員会スケジュール（案）

日時	会議	主な審議案件等（予定）
平成 3 1 年 （ 2 0 1 9 ） 7 月頃	第 1 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 次行財政改革行動計画進捗状況（市評価）の報告 ・ 外部評価対象項目に係る「外部評価調査票」の報告 ・ 第 3 次行財政改革行動計画外部評価（平成 3 1 年度）の対象項目の選定（最終決定）
平成 3 1 年 （ 2 0 1 9 ） 8 月頃	第 2 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価項目に対する所管課ヒアリング① ※外部評価対象項目に係る「外部評価調査票」の報告（追加項目・指示など）
平成 3 1 年 （ 2 0 1 9 ） 1 0 月頃	第 3 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価項目に対する所管課ヒアリング② ※外部評価対象項目に係る「外部評価調査票」の報告（追加項目・指示など） ※外部評価結果（中間報告等）に係る事前調整 [必要な場合]
平成 3 2 年 （ 2 0 2 0 ） 1 月頃	第 4 回 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 3 次行財政改革行動計画外部評価（平成 3 2 [2 0 2 0] 年度）の対象項目の選定 ※外部評価結果報告書（中間報告等）の審議 [必要な場合]

以 上